

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2024-3001-1	利用形態	内部研究	利用する 試料・情報	TMM調査地域住民コホート・三世代コホート対象者の基本情報、ゲノム配列情報、調査票情報、検査情報、最大15万人	
主たる研究機関	岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構			分担 研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査 および三世代コホート調査における家族歴を中心とした関連解析				研究期間	研究実施許可日～2026 年3月31日
実施責任者	吉田 明子		所属	いわて東北メディカル・メガバンク機構 イノベーション推進・人材育成部門	職位	助教
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査および三世代コホート調査(TMMコホート調査)における「本人と家族の疾患(家族歴)」を中心とした各疾患の家族集積性および関連解析を通じて、(1)日本における家系情報の品質の指標と、(2)発症リスク予測に有用な家族歴因子の在り方を分析する。					
研究計画概要	コホート参加時の調査票(1)「健康と生活習慣に関するおたずね」の回答を中心に、以下について解析する。 1) 疾患毎の家族集積性の解析: 地域住民コホート調査の参加者の病歴および家族歴から家系内罹患率を算出 2) 家族歴の質の分析: 三世代コホート調査参加者である子どもを除く6名の病歴を“100%の家族歴”として、上記の家系内罹患率と比較 3) 関連解析: 基本情報、配偶者の有無、子どもの数、同居者、現在の健康状態、生活習慣病の治療歴、人とのつながり、検査情報、遺伝子多型と、家系内罹患率および家族歴の質の関連を解析					
期待される成果	家族歴の質に影響する因子を明らかにすることにより、より精度の高い家族歴の評価法、収集法の作成に貢献する。これらを通じて、遺伝が関わる疾患の発症リスク評価の精度向上が期待される。					
これまでの倫理審査等の経過	本研究は、東北メディカル・メガバンク計画「いわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート研究」(承認番号HG H25-2、平成25年4月4日承認)のもとで実施する。					
倫理面、セキュリティ面への配慮	解析に関わる研究者は、当該のコホート研究の研究実施計画書の倫理事項、およびToMMoスーパーコンピュータの利用規則、データの取扱いに関するルールを遵守し、また定期的な教育を受けて、研究解析にあたっている。					
その他特記事項	特になし					
*公開日 2025年3月6日						